

令和4年度 事業報告

Next 5 years

～ 笑顔の連鎖 ～



社会福祉法人

あすか会

～ 目 次 ～

1・はじめに	3
2・人材確保／人材定着	4
3・中長期計画の策定	5
4・就労継続支援B型事業所あすかの安定運営	7
5・積み残した計画の実施	9
6・BCPの策定	11
7・新型コロナウイルスはじめ感染症対策	11
8・SDGs へ向けての取り組み	11
9・魅力ある日中活動	11
10・地域交流、地域イベント（公益活動の充実）	13

各事業所／部署の事業報告

テーマ「Next 5 years 笑顔の連鎖」

11・事務部	14
--------	----

支 援 部

12・障害者支援施設あすかの家	16
13・相談支援事業所あすかの家	24
14・生活介護事業所あすか	27
15・ちやのきのいえ	34
16・就労継続支援B型事業所あすか	37

「障害者支援施設あすかの家」「ちやのきのいえ」医務

17・医 務 部	40
----------	----

経営理念

「私たちは地域課題を解決するための中心的存在となり、社会福祉事業従事者としての責任を背負うことで、すべての人が安心して暮らせる社会を目指し、幸福追求のための新たな価値観を創造します」

支援方針

- (1) すべての人を受け入れられる懐の深い支援を目指します
- (2) 一緒に考え、一緒に悩み、共に成長できる支援を目指します
- (3) 自らが幸せになることで周りを幸せにできる支援を目指します
- (4) 言葉にならない苦しみに寄り添い、思いやりのある支援を目指します
- (5) 一人ひとりが大切にされていると感じられる個別支援を目指します

職員モットー

- (あ) あいさつ…気持ちの良い挨拶をします
- (す) すまいる…爽やかな笑顔を中心掛けます
- (か) かんしゃ…他人に対する感謝の気持ちを忘れません

令和4年度
社会福祉法人あすか会テーマ
「Next 5 years 笑顔の連鎖」

～ Next 5 years 笑顔の連鎖 ～

1、はじめに

新型コロナウイルスの影響で、通所系の事業所では閉所をしたり、入所系では一時帰宅をして頂いたり、利用者あるいはそのご家族には多大なるご迷惑を掛けました。そのため、法人全体の減収にもつながりました。

あすか会でも、昨年度に引き続き、クラスターが発生し、利用者の生活の持続はもちろん、職員配置も難しい状況になりました。新型コロナウイルスに感染した職員が長期休業をしなくてはならず、残った職員で力を合わせ、現場を維持してきました。一番、恐れたのは職員が疲弊していくことです。その分、手当てを出してきましたが、感染リスクが高い中、多くの職員がストレスを感じていたのではないのでしょうか。

しかし、自粛生活も長引き、昨年度から合計4度のクラスターを発生させ、良くも悪くもコロナ禍に慣れてしまいました。利用者のゾーニングであったり、職員の感染予防対策であったり、クラスターが起こるたび、迅速に対応できるようになってきました。

そのため、コロナ禍ではありましたが、感染対策をし、3年ぶりに「あすかの家まつり」を開催することができました。多くの職員が初めての経験で、何をどうしたら良いのかわからない状況でしたが、力を合わせて無事に開催できました。地元の人に対する感謝の意味を込め、手作り感あふれる「あすかの家まつり」の開催は、他のイベントとは違う温かいものになったと思います。

これからも地域に密着した法人として運営をしていきたいと思えます。

さて、今年度は次の5年間に向けた最初の1年ということで、管理職層を中心とした人事異動を行いました。どこの事業所に誰が配属されても、あすか会の経営理念に基づいて支援が行える体制を築いていかななくてはなりません。まず、管理者層が広い視野を持ち、法人全体を俯瞰できるようなることを目指しました。あすか会が持続可能な組織になるように、計画的に事業承継を行っていかなくてはなりません。次の5年間を見据え法人運営を行っていきます。

最後に、残念なお知らせですが、あすかの家の開所以来23年間共に暮らしてきた利用者が1名、ご逝去されました。享年72歳。悲しいお別れではありましたが、あすか会に籍を置いたまま見送ることができました。心よりお悔やみ申し上げます。この経験を活かし、利用者の皆様があすか会で生涯暮らせるように、ノウハウを蓄積していきたいと思えます。

2、人材確保／人材定着

法人を持続可能な組織にし、質の高い支援を提供していくためには、人材確保と人材定着が重要です。しかし、マスコミ等で報道されているように、深刻な人手不足に陥っています。広告媒体を活用し、人材確保に努めていますが、なかなか上手くいきません。このような状況下で、あすか会で働いてくれている職員たちに感謝をするとともに、働きやすい職場環境を整えていかななくてはなりません。

令和5年度に向けて、男性2名の新卒採用を行いました。早くに内定通知を出しましたが、二人共から内定辞退の連絡がありました。採用だけではなく、内定した者の気持ちを引き留めておくことも大切なようです。

1) 職員数 55名 → 56名

	4月1日	3月31日
障害者支援施設あすかの家	31名	31名
相談支援事業所あすかの家	3名	3名
生活介護事業所あすか	12名	13名
就労継続支援B型事業所あすか	8名	8名
ちやのきのいえ（世話人）	1名	1名
合計	55名	56名

2) 採用／退職

	採用	退職
障害者支援施設あすかの家	12名	8名
・生活支援員（正規）	3名	0名
・生活支援員（非正規）	2名	1名
・栄養士（正規）	0名	1名
・調理員（非正規）	7名	6名
相談支援事業所あすかの家	0名	0名
生活介護事業所あすか	5名	3名
・生活支援員（正規）	1名	1名
・生活支援員（非正規）	3名	1名
・看護師（正規）	1名	1名
就労継続支援B型事業所あすか	0名	0名
ちやのきのいえ（世話人）	2名	2名
合計	19名	13名

3、中長期計画の策定

経営理念を基に運営をしていきたいと考えていますが、職員に浸透していないのが現実です。その理由は、言葉が複雑で難解であること、そして、現場の職員が作ったものでないことだと思っています。エッセンスはこのままに、もっとシンプルに、そして現場の職員で考えたものにならなくてはなりません。そこで、中長期計画は単純化し、働き易い職場づくりに焦点当てたものとししました。文章ではなく、パワーポイントを活用し、視覚化しました。まず、職員の中にあすか会で働くとはどういうことなのか、そして、どのような法人を目指しているのかを理解してもらおうと考えています。5年後には、現場の職員で経営理念の見直しをする予定です。

ところが、あすか会のキャッチフレーズを職員から募集したところ、あすか会の雰囲気を見事にとらえたコピーが集まりました。言葉では説明できないけれど、あすか会らしさは浸透しているのだと思います。そういう意味でも、現場の声が反映できる法人へと変わっていかなくてはなりません。

社会福祉法人あすか会キャッチコピー「出会う、つながる、助け合う」

中長期計画の概要

1) 5年後のあすか会のビジョンを明確化する

組織図を作り、5年後のあすか会をイメージしてもらえるようにしました。今、あすか会に求められていることを明確にし、職員に共通認識してもらえるようにしました。これからは、現場の声が活かせるようにし、職員が「わがこと」として仕事に携わっていけるようにしたいと考えています。

2) そのビジョンを達成するためにどんな事業が必要なのか検討する

事業展開に関する検討を行いました。しかし、人手不足も重なり、どうしても今の法人のサイズでしか将来像が見えないのが現状です。また、現場の職員の意見が反映されているものにはなっておらず、職員の「わがこと」になるように事業展開をしていく仕組みを作らなくてはなりません。

3) 持続可能な組織づくりを意識する（新たな組織図）

持続可能な組織にするために、計画的に事業継承を進めていかなくてはなりません。委員会活動に力を入れ、職員の自主性の涵養を目指しました。不慣れなこともあり、委員会活動は期待したほど上手く回りませんでした。少しずつ機能していけるように力を合わせて頑張っていきます。

4) 職員が定着するための努力（就業規則などを見直していく）

就業規則の見直しを行いました。休日数を増やすことに重点を置きました。その分、一日の勤務時間を延ばしました。今まで通りの勤務が良いという言葉もありましたが、これからのリクルートを考えると、既存の就業規則では対応できません。時代に合った就業規則にし、職員確保に努めます。

5) 昨年度より未実施の事業の継続

(1) 多機能型事業所の建設

令和4年度社会福祉施設等施設整備費の国庫補助金の補正分を申請致しました。残念ながら、「不採択」となりました。引き続き、令和5年度分に申請致しました。

(2) 生活介護事業所あすかの事務所棟の建設

「神戸やまぶき財団」の助成金が採択されました。3月末に入札を行い、「八幡建設株式会社」が落札致しました。来年度に入ってからすぐ、着工の予定です。

(3) 東南前田の土地の活用・・・プレハブを活用する

作業棟やアトリエなどを作りたいと考えていましたが、上記の申請ごとに追われ、手つかずのままです。人材不足や財政のことを考えて、どう活用するのが一番良いのか再検討が必要です。

6) 新規事業の開始

人手不足の中、新規事業所を立ち上げるのは難しいと判断しました。上記の多機能型事業所は、現在の「生活介護事業所あすか」「ちやのきのいえ」の分場にしたいと思っています。

7) BCPの策定（令和6年義務化）

厚生労働省の発表したひな型に沿って、BCPの策定にかかりました。令和4年度中には完成しませんでした。令和5年度中に完成させなければなりません。しかし、担当者の負担が大きい事、また、職員間に浸透していかない事を考えると、外部委託を考えた方が良さそうです。

8) SDGsを視野に入れた取り組み

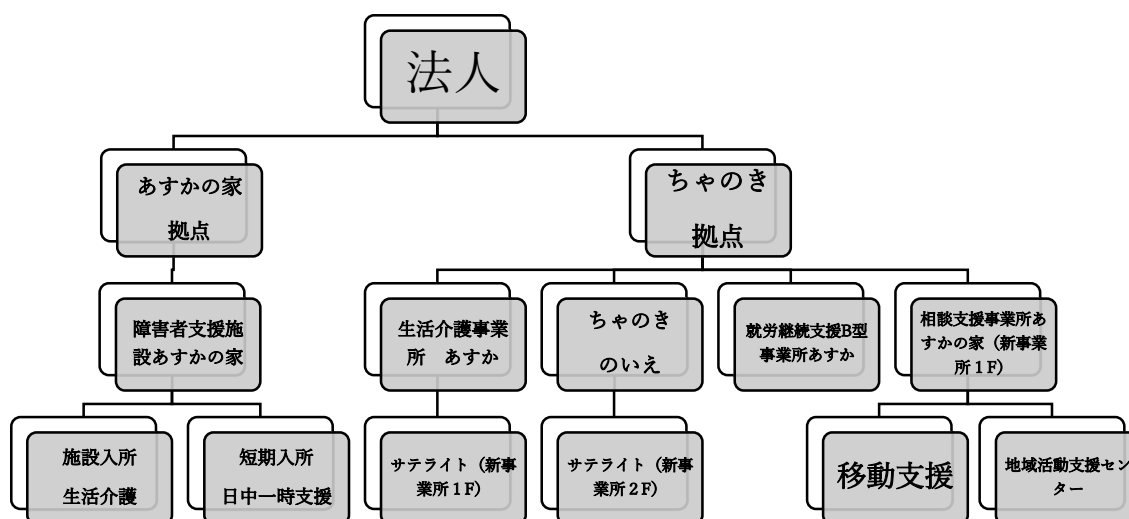
研修会を重ねてきました。BCPの策定と同じく、担当者だけのことになっ

てしまい、職員の「わがこと」にするのが非常に難しいです。日々の勤務の中で、利用者の直接支援以外の時間確保が困難であり、来年度以降、どのように職員に浸透させていくのが課題です。

9) 法人全体の安定運営の方策を立てる

「日中活動の充実」「利用者の確保」「職員の定着」を目標に掲げてきましたが、具体的な対策がとれず、なぜ、目標達成ができないのか検討していかなくてはなりません。

5年後の組織のイメージ



4、就労継続支援B型事業所あすかの安定運営

令和元年に「就労継続支援B型事業所あすか」を開設致しました。開設当初は太子町内に「就労系」の事業所が少なく、多くの利用者を見込んでいました。しかし、ここ数年、「就労系」の事業所が増え、利用者の取り合いという事態が起きています。また、「障害者の仕事」「障害者の職場」にこだわり、事業運営を行ってきました。そのため、職能評価の高い方を想定した仕事を提供してきましたのですが、利用者、ご家族のニーズはそこにありませんでした。

そのため、利用者が集まらず赤字運営となっています。きっちりとニーズ把握を行い、利用者を集めて、安定運営を行っていかなくてはなりません。

仕事については、太子町役場と連携協定を結び、太子町役場内で物販をさせて

頂ける様になり、弁当、焼き菓子などの売り上げはかなり上がっています。これは利用者の工賃になりますので、利用者には喜んで頂いています。弁当や焼き菓子が売れていることをもっと宣伝し、利用者増につなげていきたいです。

就労継続支援B型事業所あすかの重点目標・・・利用者獲得！ 販売促進！ 積極性！

1) 利用者の獲得

(1) 相談支援事業所との連携

相談支援事業所に連絡し、利用者獲得へ向けて話し合いをしていますが、利用者獲得はできませんでした。多くの事業所も定員割れと聞いていますが、その言葉に甘んじず、相談支援事業所にあすか会に利用者をみてもらいたいと思ってもらえるような取り組みをしていかななくてはなりません。

(2) 積極的に利用者を探す

日々の仕事に追われ、積極的に利用者を探すことができていません。特別支援学校の進路、相談支援事業所、就ポツ、ハローワークなどとの関係づくりを行っていく必要があります。

(3) 魅力の発信

Officekajiyanoに委託しホームページ、SNSの発信に力を入れていますが、利用者の獲得にはつながっていません。

2) 農福連携

(1) 壽ファームから作業をもらうと同時に商品開発

壽ファームとの連携がうまくいかず、年度途中で仕事を一緒にすることが難しくなりました。利用者の工賃につながらなかったことが最大の理由ですが、農業側との話し合いがきちり行われなかったことが悔やまれます。農福連携の在り方を問い直していきたいと思えます。

(2) いちじく、ぶどうの栽培

姫路温室植物園の元園長、松本修二さんをアドバイザーを迎え、いちじく、ぶどうを栽培してきました。まだ、収穫はできていませんが、これからも大切に栽培していきたいです。

(3) 利用者の工賃アップ（販売ルートの獲得）

作物を育てる方には力は入れましたが、販売ルートの確保はできて

いません。夏場にテントを張って無人販売をしましたが、一時的なことで継続できませんでした。農福連携がうまくいかない最大の理由は販売ルートがないことです。ここに力を注ぐ必要があります。

3) 草食太子 → 何も活動できませんでした。

- (1) イベント等を通じて野草文化の普及と商品開発
- (2) 耕作放棄地の管理 仕事の開拓
- (3) 担当者を決めて、責任を持って仕事をする

4) ちやのき cafe

(1) 売り上げUP↑

太子町役場で、弁当、総菜を中心に販売を開始し、売り上げ増に成功しました。仕事の効率化を考え、今後、利用者が増えた時の仕事の量を考えていく必要があります。

(2) ウィズコロナで cafe を開ける工夫をする。cafe の再開を目指す cafe を再開させました。

(3) 商品開発をして Café のメニューを増やす
イベントに出せる物を増やす

(4) イベントへの出店 利用者の工賃を上げると同時に知名度を上げる

(5) コミュニティスペースとして活用し、地域貢献をする
イベント会場としても活用する

5、積み残した計画の実施

1) 多機能型事業所の建設

予定通り施設整備国庫補助金の申請を行いました。令和 4 年度分は不採択となりました。引き続き、令和 5 年度分を申請していきます。

多機能型事業所の概要

(1) 設計事務所 森澤建築設計事務所 理彩設計

〒671-1214 姫路市勝原区山戸 201-9

(2) 建築士 一級建築士 森澤正昭 氏 / 森澤理恵子 氏

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| (3) 予算 | 2億5千万円（資材の高騰により、この価格では難しい場合もある） |
| (4) 補助金申請 | 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金 |

2) 生活介護事業所あすか事務所棟の建設

「神戸やまぶき財団」で800万円の助成金が採択されました。3月27日に入札を行い、八幡建設株式会社が、3510万円で落札しました。

生活介護事業所あすか事務所棟 設計事務所について

- | | |
|-----------|---|
| (1) 設計事務所 | 株式会社河原建築設計事務所
〒671-1341 たつの市御津町釜屋 488 - 10 |
| (2) 建築士 | 一級建築士 河原和也 氏 |
| (3) 予算 | 4000万円（助成金を活用する） |

事務所棟建設の予定

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 設計図の完成 | → 河原設計事務所に依頼 |
| (2) 「神戸やまぶき財団」助成の申請 | → 助成金800万円採択されました |
| (3) 入札（助成金が決定し次第） | → 令和5年3月27日に一般競争入札で、
八幡建設株式会社が落札しました |
| (4) 着工（入札より2ヵ月後） | → 令和5年4月着工予定 |
| (5) 年内 | → 令和5年8月に完成予定 |

3) 東南前田の土地の活用

前田の土地の活用も考えていますが、通所施設の事務所棟や新事業所の助成金の申請などで、前田の土地には手がまわりませんでした。また、現場の支援者も、日々の業務に追われて、前田の土地で作業やイベントができる状態ではありませんでした。前田の土地を活用するのであるならば、計画的に人員配置も含めて考えていかななくてはなりません。

東南前田の土地 今年度の予定

- | |
|---------------------------------------|
| (1) 全体の青写真を描く |
| (2) 設計事務所の選定 |
| (3) サニタリー棟から設置 |
| (4) イベントの開催 |
| (5) 「就労継続支援B型事業所あすか」の販売所（最初はテントを活用する） |

6、BCP の策定

令和 6 年度の BCP 策定の義務化に向けて取り組みを始めました。しかし、担当者の負担が大きく、完成にまで至りませんでした。引き続き、令和 5 年度中の完成を目指して取り組んでいきます。

7、新型コロナウイルスはじめ感染症対策

昨年度、令和 4 年 2 月にクラスターが発生し、その後 3 回クラスターを発生させてしまいました。しかし、回数を重ねるごとに迅速に対応できるようになりました。それからは、感染者が出てもクラスターにならずに済みました。しかし、事業所を閉め、短期入所の受け入れや帰省を止めたため、利用者やそのご家族に不便な思いをさせました。

8、SDGs へ向けての取り組み

「Office kajiyano」に委託し、SDGs の研修に取り組んできました。担当者は大変な思いをしてきました。これから現場に浸透させ、法人一丸となって取り組んでいかななくてはなりません。

9、魅力ある日中活動

事業計画で以下の通り構想を練っていましたが、思っていたようには進みませんでした。職員間にイメージの共有ができなかったこと、担当者を決めて、達成に向けて取り組んでいけなかったことが大きな理由だと思われます。余暇活動の組み立て、特に地域に目を向けての活動は職員にとっては負担になっているようです。

外部委託したものに関しては、きっちりと取り組むことができ、効果も出てきています。外部の方が事業所内に入られるのは、利用者にとっても楽しく、刺激になります。自己完結しがちな福祉事業所にとっては、外の空気を取り入れるのはとても重要です。これからも外部委託を積極的に行っていきたいと考えています。

日中活動の概要とイメージ

- | |
|-----------------------------|
| 1) 農福連携
(1) 壽ファームの仕事を受ける |
|-----------------------------|

- (2) 壽ファームと共同で商品開発
- (3) 壽ファームと販路拡大
- (3) 壽ファームとイベントなど地域の活性化

先にも述べましたが、壽ファームとの連携はうまくいきませんでした。農福連携が机上の空論になってしまい、非常に残念です。身の丈にあった農業の仕方を考えていかななくてはなりません。

2) 草食太子

- (1) 耕作放棄地の管理（草刈り）
- (2) 耕作放棄地でのイベント
- (3) 放置竹林の整備（竹炭づくり）
- (4) 野草を使った商品開発／イベント
- (5) あすか農園による地域交流

元々、外部講師を入れてやっていた取り組みですが、コロナ禍でストップしてしまい、そのままとなっています。法人内で十分に実現可能な取り組みと考えていましたが、企画、勉強会、イベントと法人内の職員だけで実現させるのは困難であると思います。

3) 京極 WORKS によるワークショップ

- (1) 月2回のワークショップ
- (2) 「楽しい」を追求
- (3) 障害者のためのダンス・体操プログラムを作る
- (4) 他の事業所へ輪を広げる

講師に京極朋彦氏を招き、定期開催してきました。利用者も京極氏に慣れてきて、自分が何をするのか見通しが立ってきており、来年度以降も定期的で開催していく予定です。

4) ミロゴ・ベノワ氏との演奏

- (1) 定期的にベノワ氏と一緒に演奏、ダンス
- (2) 太鼓集団 HIBIKI の演奏
- (3) HIBIKI のメンバー以外にも楽しめる機会を作る
- (4) ベノワ氏のライブに参加

ミロゴ・ベノワ氏を招いて定期開催。こちらも回を重ねるごとに、見通しが立ってきていて、利用者の楽しみになっています。ミロゴ・ベノワ氏には、あすかの家まつりにも出演して頂いたり、ちゃのき cafe でイベントをして頂いたりして、あすか会の利用者だけでなく、地域の方々にも喜んで頂いています。

5) 株式会社 KAJIYANO による情報発信

- (1) KAJIYANO によるコーディネート
- (2) ホームページ等を通じて情報発信
- (3) KAJIYANO を通じて他の事業所と繋がっていく

ホームページの作成や SNS の発信を行ってきました。アールブリュットや SDGs など多くのことに監修として加わって頂きました。内外にあすか会らしを伝えて行くことができたと思います。

10、地域交流、地域イベント（公益活動の充実）

太子町とあすか会の間で「連携協定」を締結しました。太子町の福祉や町づくりについて、太子町役場と連携して活動していけることになりました。ますます地域のために力を注いでいきたいと思えます。

今年度は3年ぶりに「あすかの家まつり」を開催しました。コロナ禍の影響でキッチンカーなどのイベントが多い中、地元密着、廉価な商品のイベントは、地元の方々に喜んでいただけました。20回を数えるイベントであり、こういう昔ながらの手作り感あふれる祭りは、大切だと思えます。

また、ちゃのき cafe を貸切にして、ひきこもり支援団体、障害者の事業所、地元の合唱団などに使ってもらった。来年度はフリースペースを再開し、より地域の方に喜んで頂きたいと考えています。

ちゃのき café の活用

- ・「mikke」によるひきこもり、不登校支援

活動の場が太子町社会福祉協議会にも広がり、ひきこもりの支援の輪が町内に広がっていきました。

- ・発達障害者の当事者交流会

予定していましたが、うまくマッチングできませんでした。

- ・障害児の親の相談会／親亡き後勉強会（関西親亡き後ネットワークと連携）
来年度に持ち越し。来年度は実施予定です。
- ・「太子まち同心」による福祉事業所交流事業（複数事業所連携事業）
コロナ禍のため、複数事業所連携事業は申請しませんでした。事業所間でお金を出し合って、「ふくしフェスティバル」を開催致しました。
- ・音楽やお笑いライブイベントの実施／あすか会アールブリュット展
イベントやアールブリュット展を開催してきました。引き続き、いろんなイベントを開催していく予定です。
- ・子供会、自治会等、各種団体の交流
福祉事業所や各団体が貸切で使用してくれましたが、各団体の交流はできませんでした。

イベント

- ・LIGHT IT UP BLUE ASUKA 4月2日～4月8日（あすか会各事業所）
- ・和のまち太子ふくしフェスティバル 4月24日 太子町総合運動公園
- ・聖徳太子1400年プロジェクト 各イベントに協力
- ・第21回 あすかの家まつり 10月30日

各事業所／部署の事業報告

テーマ 「Next 5 years 笑顔の連鎖」

11・事務部

一般的な事務職（経理・人事・労務・庶務）に加えて、多職種の職員が働きやすいように支えていくことを心掛けました。また、外部の関係者と良好な関係を築くことにも力を注ぎ、社会福祉法人あすか会の看板として、その名に恥じないように心がけてきました。

今年度はコンプライアンスを重視し、職員の労働環境を整えてきました。事業所間の兼務を整理し、勤務実態にあった職員配置に変えていきました。また、就業規則、給与支払い規程を見直し、他法人に比べて遜色のないものにしました。休日数が少ないなど、まだ改善の余地はありますが、より働き易くなったと思います。

ます。合わせて、リクルートにも活かせるようにしています。

持続可能な法人運営ができるように仕組みを整えていくとともに、職員が働き易くなるように、これからも業務に精励致します。

方針

- 1) 労働環境を整備し、「職員が働きやすい職場」の実現を目指す。
- 2) 会計業務を適切に遂行する。
- 3) 法令遵守（コンプライアンス）の意識を高める。
- 4) 事務作業の省力化・効率化を目指す。

重点項目

- 1) 職員の勤務形態、年間休日数等の見直し
 - ①勤務実態を正確に把握する。
 - ②職員の勤務時間の見直し及び年間休日数の増加を検討する。
- 2) 職員配置の適正化
 - ①毎月各事業所ごとに、勤務実績に基づいた「勤務形態一覧表」を作成する。
 - ②業務上必要な資格取得（サービス管理責任者・介護福祉士・強度行動障害従事者等）を支援し、適切なポジションへの配置を図る。
- 3) 諸規則・諸規程の見直し
 - ①就業規則改定の検討（労働時間・休日数、パートタイマーの年次有給休暇付与等）
 - ②経理規程改定の検討（小口現金の上限額、契約に関する事等）
 - ③関連法改正等への適切な対応
- 4) 予算管理・決算業務・通常経理業務の確実な遂行
 - ①各事業所への費用計上をより適正に行う。
 - ②資金繰り（キャッシュフロー）を重視し、適正な予算管理を行う。
 - ③決算書類を決められた期日までに確実に作成する。
 - ④業務の合理化と省力化を目指す。
 - ⑤通所事務所棟建設及び新グループホーム建設に関する事務を疎漏無く遂行する。
- 5) 人材の確保
 - ①通年採用が可能な体制の構築（各種学校との連携強化、業者依頼、ホームページ・インスタグラムの充実、法人説明会開催等）。
 - ②職員が定着しやすい環境作り（弾力的な働き方ができる配慮、定期面談の実施等）

概ね計画通りに事業を進めることができました。しかし、人材の確保は難しく広告媒体などを活用し、予算をかけましたが、思うような効果は得られませんでした。事務処理に関しては整ってきていますので、働き易い職場環境づくりや人材確保に力を入れていきたいと思えます。

12、障害者支援施設あすかの家

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの拡大により、利用者の楽しみや職員の研修等あらゆることが制限され、何もできない2年間でした。令和4年度は8月に新型コロナウイルスのクラスターが発生しましたが、感染症対策の知識や対応の方法を職員が身に着け、対応を統一することで乗り切る事ができ、1年を通して余暇活動や行事を行うことができました。週末の買い物も行けるようになり、利用者の楽しみが帰ってきました。特に3年ぶりに第21回となる「あすかの家まつり」を復活させることができました。たくさんの地域の方に来場していただき、ベノワさんの音楽等を通して交流ができました。

復活した外出行事や「あすかの家まつり」ですが、初めての経験となる職員が多かったです。利用者の楽しみや地域貢献に対する取り組みの大切さを伝え、「障害者支援施設あすかの家」の伝統を若い世代に引き継いでいかなければなりません。

1) 基本方針

「家庭的な雰囲気、親亡き後の安心・安全な暮らしを実現します」

安心・安全の生活の実現を目標に掲げましたが、怪我等の事故報告がありました。原因の多くが利用者間のトラブルによる怪我であり、支援者の目が行き届いていないが故の事故がほとんどでした。事故を報告で済ませるのではなく、しっかり分析し対策することで事故をゼロにしていきます。

2) 提供サービス

<生活介護>

	利用者数	定員	利用率	1日平均
4月	701名	880名	79.7%	31.9名
5月	719名	920名	78.2%	31.3名
6月	704名	880名	80.0%	32.0名
7月	711名	920名	77.3%	30.9名
8月	705名	920名	76.6%	30.7名

9月	669名	880名	76.0%	30.4名
10月	729名	920名	79.2%	31.7名
11月	724名	880名	82.3%	32.9名
12月	754名	920名	82.0%	32.8名
1月	728名	920名	79.1%	31.7名
2月	639名	800名	79.9%	32.0名
3月	736名	920名	80.0%	32.0名
合計	8,519名	10,760名	79.2%	31.7名

<施設入所支援>

	利用者数	定員	利用率	1日平均
4月	835名	900名	92.8%	27.8名
5月	862名	930名	92.7%	27.8名
6月	839名	900名	93.2%	28.0名
7月	861名	930名	92.6%	27.8名
8月	836名	930名	89.9%	27.0名
9月	816名	900名	90.7%	27.2名
10月	862名	930名	92.7%	27.8名
11月	869名	900名	96.6%	29.0名
12月	878名	930名	94.4%	28.3名
1月	855名	930名	91.9%	27.6名
2月	782名	840名	93.1%	27.9名
3月	897名	930名	96.5%	28.9名
合計	10,192名	10,950名	93.1%	27.9名

<宿泊短期>

	利用者数	定員	利用率	1日平均
4月	52名	90名	57.8%	1.7名
5月	73名	93名	78.5%	2.4名
6月	64名	90名	71.1%	2.1名
7月	35名	93名	37.6%	1.1名
8月	22名	93名	23.7%	0.7名
9月	33名	90名	36.7%	1.1名

10月	36名	93名	38.7%	1.2名
11月	75名	90名	83.3%	2.5名
12月	52名	93名	55.9%	1.7名
1月	65名	93名	69.9%	2.1名
2月	41名	84名	48.8%	1.5名
3月	46名	93名	49.5%	1.5名
合計	594名	1,095名	54.2%	1.6名

<日中短期>

	利用者数	定員	利用率	1日平均
4月	95名	120名	79.2%	3.2名
5月	117名	124名	94.4%	3.8名
6月	113名	120名	94.2%	3.8名
7月	82名	124名	66.1%	2.6名
8月	77名	124名	62.1%	2.5名
9月	76名	120名	63.3%	2.5名
10月	63名	124名	50.8%	2.0名
11月	106名	120名	88.3%	3.5名
12月	87名	124名	70.2%	2.8名
1月	99名	124名	79.8%	3.2名
2月	92名	112名	82.1%	3.3名
3月	111名	124名	89.5%	3.6名
合計	1,118名	1,460名	76.6%	3.1名

振り返り

1) 支援の質の向上

ひとりひとりが大切にされていると感じることができ、我が家のように落ち着いて過ごすことのできる温かい支援を大切にしました。毎日入浴したり、天日に布団を干したり、身だしなみをきちんと整えたり、ノーマルな当たり前な暮らしが当たり前にできるように今後も続けていきます。

令和4年度は、開設当初から入所されていた男性が72歳でご逝去されました。晩年は寝たきりの状態となり、食事や入浴など生活全般で介護が必要とな

りました。あすかの家が開設して 23 年が経ちますが、利用者の高齢化はこれからも避けては通れない課題です。支援員が介護技術の力をつける事で、利用者の安心・安全を提供していけます。介護技術の習得を早急に行っていく必要があります。

<入所事故報告>

月	日 時	対 象 者	原 因
4 月	6 日	男性	服薬誤飲
	15 日	男性	他利用者とのトラブル
	20 日	女性	他利用者とのトラブル
	24 日	男性	他利用者とのトラブル
5 月	1 日	女性	転倒
	2 日	男性	他利用者とのトラブル
	3 日	男性	破損
	8 日	男性	他利用者とのトラブル
	12 日	男性	破損
	22 日	男性	破損
	25 日	男性	他利用者とのトラブル
	26 日	女性	他利用者とのトラブル
	26 日	男性	他利用者とのトラブル
	30 日	女性	他利用者とのトラブル
6 月	14 日	女性	転倒
	14 日	男性	他利用者とのトラブル
	17 日	男性	服薬誤飲
	19 日	女性	搜索願い
	20 日	女性	転倒
	23 日	男性	服薬誤飲
	24 日	男性	他利用者とのトラブル
7 月	5 日	男性	他利用者とのトラブル
	21 日	女性	転倒
8 月	11 日	男性	他利用者とのトラブル
	25 日	女性	他利用者とのトラブル
	26 日	男性	他利用者とのトラブル

9月	6日	男性	他利用者とのトラブル
	1日	男性	他利用者とのトラブル
10月	3日	女性	他利用者とのトラブル
	19日	女性	転倒
11月	8日	男性	他利用者とのトラブル
	21日	女性	服薬忘れ
12月	14日	女性	自傷
1月	20日	男性	他利用者とのトラブル
3月	24日	女性	誤飲
	26日	女性	転倒

2) 人材育成・人材定着

オンライン研修に加えて、外部の研修が実施されるようになり、研修の機会が増えました。外部で学んだことを自分だけのものにせず、他の職員に伝えることも大切ですが、研修の報告会など学びを伝える機会が作ることができませんでした。外部への研修に加えて内部研修を充実することが今後の課題です。法人全体で学ぶ風土を作り、専門的な知識を身につけ、支援の質の向上を図っていきます。

またブランディングを活用する事でホームページや SNS に広く発信していきました。外部を意識して自分たちの組織・仕事を見つめる事で、法人が目指す方向を意識する事ができました。職員全体に経営理念が浸透し、自分の仕事にもっと誇りが持て、風通しが良く、働き甲斐のある職場作りを目指していきます。

<施設外研修>

日時		内容	場所	参加者
7月	2日	「楽通 15 周年イベント」 金村義明トークショー	イーグレ姫路	男性 2 名
8月	5日	社会福祉法人経営計画普及 セミナー	オンライン研修	男性 1 名
	7日	人権文化をすすめる町民運動	丸尾建築 あすかホール	男性 1 名
	22日	組織・人材マネジメント 委員会主催セミナー第 1 回	オンライン研修	男性 1 名

9月	12日 13日	～社会福祉法人の法人運営は 定款にあり～	合人社ウエンディひと・ まちプラザ 北棟5階 研修室A	男性1名
10月	4日	リスクマネジメント研修	兵庫県福祉人材 研修センター	男性1名
	13日 14日	サビ管実践研修	オンライン研修	女性1名
11月	7日	播淡地区職員研修会	オンライン研修	女性1名
12月	7日	新任職員フォローアップ研修	OAA はりまハイツ 大ホール	女性1名
	7日	給食施設協議会研修	たつの市 青少年館ホール	女性1名
	16日	法人経営トップセミナー	オンライン研修	男性1名
2月	7日	社会福祉法人 会計セミナー「決算編」	エル・おおさか	男性1名
	10日	食品衛生責任者認定講習会	姫路市市民会館 3階 中ホール	女性1名
	13日	揖龍栄養士会	たつの市 はつらつセンター	女性1名
	28日	職場定着研修	オンライン研修	女性1名
3月	6日	強度行動障害スーパーバイザー 養成事業における実践報告会	兵庫県 福祉センター	男性1名
	9日	福祉従事者中堅職員研修	兵庫県福祉人材 センター	女性1名

<施設内研修>

日 時	内 容	場 所	参加者
4月 6月 8月	28日 8日 10日 新人研修	あすかの家 会議室	男性4名 女性1名
5月～ 6月	22日～ 25日 喀痰吸引研修 47時間	オンライン研修	男性3名 女性1名
7月	1日 8日 2日間	あすかの家 多目的ホール	男性2名
	15日 22日 2日間	あすかの家 多目的ホール	男性1名 女性1名

7月	6日	SDG' S 会議	あすかの家	男性 2 名
9月	13日	山口 貴士	多目的ホール	女性 1 名
11月	25日	OFFICE KAJIYANO		
12月	14日			
7月	19日	ブランディング会議 山口 貴士 OFFICE KAJIYANO	オンライン研修	男性 2 名 女性 1 名
11月	22日			
12月	13日			
1月	17日			
2月	10日			
6月	10日	交通安全研修	あすかの家 食堂	全職員
9月	16日	虐待防止研修	あすかの家 食堂	全職員
1月	16日			
10月	7日	ぜんじろうさん研修 「世間と社会とのちがい」	ちやのき cafe	全職員
3月	15日	ハラスメント会議	あすかの家 会議室	男性 1 名 女性 1 名

3) 生活支援

家庭的な暮らしを提供したいという思いから、朝は換気をして空気を入れ替え、布団や洗濯物は天日干しをし、気持ち良く毎日のスタートがきれるようにしています。洗濯物や布団を干すことが利用者の日課となっています。

日中の活動の中心はドライブや散歩が中心となってしまう、作業が充実せず、活動時間になってもリビングで過ごす利用者がいました。生活空間と活動の場所を分け、メリハリのある生活を送れるようにすることが今後の課題です。日課を整え、作業を中心とした活動の充実が必要です。

4) 作業

令和 4 年度は作業の受注量が減り、作業できていた時間を持て余すようになり、充実した活動ができませんでした。来年度は継続的に作業が取り組めるように、新しい作業を探すことも検討していきますが、昨年計画していた裏山の竹作業も軌道に乗りませんでした。作業環境を整えることで、利用者一人ひとりが活躍できるようにしていきます。

5) 外出支援

昨年度は新型コロナウイルスの影響で外出がほとんどできませんでした。令和 4 年度は感染症対策をしながら毎月行事を行うことができ、外出の機会が

増えました。行事を通して利用者ひとりひとりが楽しく、充実した生活を送れるようになりました。買い物では、地域のお店を利用することにより、地域の方との結びつきを大切にしています。

<毎月の行事>

	テーマ	場 所	費 用
4月	観桜会	太子メモリアルパーク	53,027円
5月	バーベキュー	あすかの家 グランド	77,794円
6月	あすか会運動会	あすかの家 駐車場	78,949円
7月	フリープラン	赤穂御崎、プラネタリウム 他	80,313円
8月	新型コロナウイルス感染のため自粛		
9月	フリープラン	人と科学の未来館、サイピア、須磨水族館等	63,498円
10月	あすかの家まつり	あすかの家 グランド	収入 187,900円 支出 329,482円
11月	フリープラン	好古園、紅葉谷等	131,927円
12月	クリスマス会	あすかの家 食堂	69,707円
	忘年会	あすかの家 各フロア	48,525円
1月	新年会	あすかの家 食堂	26,053円
	フリープラン	鹿島神社、破盤神社等	119,203円
2月	節分	あすかの家 各フロア	37,765円
3月	フリープラン	姫路城、カラオケ等	145,200円

6) アートプロジェクト

(1) アールブリュット

10月あすかの家まつり・3月ちやのきCaféで「アールブリュット展」を行いました。担当職員を中心に利用者が描いたものを展示しましたが、アールブリュット展を行うことを目的として作品作りをしたため、製作時間がなく作品があまり集まらなかったという反省がありました。普段から絵を描く時間を作り、作品を集めていくことが大切です。その絵をどう生かすかは展示する支援者の力が必要です。「アールブリュットとは何か？」を支援者が勉強し、利用者の活躍することで広く皆様に知って頂けるようにします。

(2) 動のアート

①ヨガ

講師：AYAさん

- ②アフリカ音楽 講師：ベノワ・ミロゴさん
- ③アートの時間 講師：京極WORKS

支援者が行う余暇のレクリエーションではなく、「動のアート」としてプロの講師を招き、本物を体感しました。ヨガでは普段無意識にしている呼吸や自分の身体を意識したり、音楽ワークショップではアフリカのリズムに合わせてありのままを表現したり、普段できない体験ができています。京極さんのワークショップでは支援員が京極さんの手伝いとして参加することで「支援とは何か？」を考える機会になりました。外部講師をお招きすることは利用者だけではなく、職員も良い刺激を受けており、意義のある活動となりました。

給食

基本方針

「厨房主催イベントも成功し、万歳!! 調和がとれ、仲良く仕事をする」

退職者が多く常に求人募集をしている状況でした。求人募集はたくさんありましたが、入職後すぐに退職され、仕事が長続きしませんでした。入職してすぐに退職されていく原因を分析し、改善していかなくてはなりません。

利用者に美味しくて温かい食事を提供するのが我々の役目です。職員間のチームワークを整え、より美味しい食事を提供できるように努力していきます。

生活支援員、看護師と連絡を密にして利用者さんの要望にできるだけ応えてあげたいです。

13、相談支援事業所あすかの家

基本方針

「相談員ぶらない相談員として、相談者の隣で耳を傾けていきます」

(1) 相談支援部

1) 指定特定相談実績

	計画	モニタリング	計画費
4月	15件	39件	792,600円
5月	15件	36件	750,750円
6月	17件	28件	672,290円

7月	21件	39件	892,020円
8月	18件	60件	1,135,260円
9月	6件	40件	657,420円
10月	17件	28件	672,290円
11月	25件	39件	958,300円
12月	17件	23件	602,540円
1月	9件	41件	721,080円
2月	18件	42件	884,160円
3月	26件	29件	835,370円
計	204件	444件	9,574,080円

2) 重点的な取り組み

①地域の障害福祉サービス提供事業所と連携強化

法人ホームページで太子町内の新しい事業所の情報を発信しました。事業所と協力して発信内容を決めることで、関係者間の連携を図る場となりました。また、日常業務の様子をSNSで発信することで、相談支援専門員の仕事を理解してもらえました。日頃からアウトリーチを心がけており、時間かあれば訪問するようにして利用者本人や事業所の支援者と顔の見える関係作りを行いました。

令和4年11月25日、太子町ケアマネ研修会で障害福祉サービスと介護保険の違いについて研修を行い、主任相談支援専門員が講師として出席しました。日頃、接点の少ないケアマネージャーとの顔合わせの時間となり、お互いの立ち位置を確認することができました。

②学齢期から成人期へのスムーズなサービス移行

今年度は2回の自立支援協議会と4回の相談支援部会を開き、情報共有を行いました。就労アセスメントの内容やご家族の進路希望を事前に確認できたことで、スムーズにサービス提供につなぐことができました。引き続き、協議会の中で情報交換を行っていきます。また、令和5年2月に町内で新たな相談支援事業所が開所しました。事前に主任相談支援専門員が実習を行うことで、町内における支援の輪を広げることができました。

③時代の変化に対応できるスキルアップ

定期的に各種研修や相談支援従事者現任研修を受けて、スキルアップを行いました。研修内容は会議等で報告し、実践に活かすようにしました。また、事業所内でリモートに対応できる環境を作り、柔軟に対応しました。

日時	研修名	参加人数
R4.7.12～7.15	兵庫県相談支援従事者現任研修	1名
R4.12.8	障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援研修	1名
R5.2.13	発達障害のある方の理解 ～安定した就労を～	1名
R5.3.15	ありのままの自分で開こう未来の扉 ～障害者雇用のために～	2名

(2)地活部

①広報活動の強化

太子町役場や福祉会館、他事業所にパンフレットを設置して広報活動に努めました。日々の活動の中で地域を散歩したり、ガーデニングを行うことで地域住民との接点生まれ、地活の存在を知ってもらうことができました。

地域活動支援センターあすかの家利用実績・活動内容

	稼働日	延べ利用人数	1日平均	活動内容
4月	21日	88日	3.82日	軽作業、園芸等
5月	22日	89日	4.04日	軽作業、塗り絵、折り紙等
6月	22日	75日	3.40日	軽作業、園芸等
7月	20日	73日	3.65日	七夕会等
8月	23日	83日	3.60日	軽作業、創作活動等
9月	22日	82日	3.72日	軽作業、アート活動等
10月	22日	97日	4.40日	軽作業、園芸等
11月	22日	111日	5.04日	軽作業、楽器演奏等
12月	22日	105日	4.77日	軽作業、クリスマス会等
1月	20日	92日	4.55日	軽作業、初詣、かるた等
2月	20日	80日	4.00日	軽作業、節分、豆まき等
3月	22日	88日	4.40日	軽作業、ひなまつり会

②充実感を得られる時間の提供

相談支援専門員が定期的に訪問し、利用者と面談する時間を作りました。それによって、日頃の困りごとや悩みを聞き取ることができました。また、毎月の地活会議を実施し、利用時の様子を関係者で情報共有しました。日中活動もガーデニングやカリンバの演奏、映画鑑賞など充実を図りました。

ピアカウンセリングについては、希望者がおらず実施することはできませんでし

たが、希望者があればすぐに対応できるように環境は整備しています。

(3)移動支援部

ヘルパーの確保ができずに運用することができませんでした。引き続き、人員募集と利用者ニーズを取りまとめるようにしていきます。

【令和4年度 振り返り】

今年度も新規の問い合わせは多く、地域で支援を受けられず困っている方が多く見られた。アウトリーチを心掛け、なるべくサービスに繋げるよう即応性を大切に支援を行ってきました。その中でも多額の負債処理やゴミ屋敷の対応など、相談内容も多岐に渡り複雑化して対応に苦慮しています。令和5年3月から太子町基幹相談支援センター(太子町直営)が運営開始されたことで、困難ケースの協力体制が整い、そういったケースにも仲間がいると心強く感じています。安定的な運営ができるまでは、あすか会を中心に町内の事業所が協力して相談体制の整備に努めていきたいと思えます。また、町内で新たに相談支援事業所が一つ増えました。町内の利用者を取り残すことがなく、細かいサービスが出来るように協力していきます。前年度同様、新たに相談支援専門員の増員はできなかったが、求人募集を含めて適した人材の発掘には力を注ぎたいと思えます。地域活動支援センターも開所から約2年を迎え、利用者の固定化が見られ新規利用者は伸び悩んでいます。地域活動支援センターの知名度はまだまだであり、広報活動は引き続きする必要があると感じています。また、ボランティアが参加するようになり、活動内容の幅は広がり、地域との懸け橋になっています。そのように地域活動支援センターに関わってくれる人を増やしていくことで、認知度も広がると思えます。

14、生活介護事業所あすか

1) 基本方針

「一人ひとりが生き生きし、将来に希望が持てる支援を展開します」

2) 利用者数

	利用者数	定員数	利用率	一日平均
4月	473人	550人	86.0%	21.50人
5月	586人	575人	101.9%	25.48人
6月	540人	550人	98.2%	24.55人
7月	471人	575人	81.9%	20.48人
8月	448人	575人	77.9%	19.48人

9 月	527 人	550 人	95.8%	23.95 人
10 月	349 人	575 人	60.7%	15.17 人
11 月	542 人	550 人	98.5%	24.64 人
12 月	574 人	575 人	99.8%	24.96 人
1 月	539 人	575 人	93.7%	23.43 人
2 月	486 人	500 人	97.2%	24.30 人
3 月	568 人	575 人	98.8%	24.70 人
合 計	6103 人	6725 人	90.8%	20.9 人
特 記	【定員数】 25 名 【入院者数】 6 月～9 月 2 名 【在籍数】 27 名 10 月～3 月 1 名			

3) 作業

利用者全員が活躍をし、利用者や支援員ともに達成感を感じられることを目標に取り組んできました。また、利用者が視覚的にも構造的にも分かりやすく取り組める環境を目指してきましたが、まだまだ作業空間や作業道具など改善することや課題も多く見られたので、来年度はひとりの能力に合わせた作業環境や工程を工夫することで、日々努力しています。

《内職収入》

	プラグトレイ作業	神戸マッチ
4 月	10,200 円	10,200 円
5 月	10,200 円	4,000 円
6 月	12,600 円	4,000 円
7 月	10,800 円	6,000 円
8 月	9,600 円	4,000 円
9 月	12,000 円	8,000 円
10 月	6,600 円	6,000 円
11 月	0 円	10,000 円
12 月	0 円	9,000 円
1 月	0 円	4,500 円
2 月	0 円	9,000 円
3 月	3,000 円	6,750 円
合 計	75,000 円	81,450 円

4) 運 動

太子町内を主に登山やウォーキングコースでの運動に取り組みだけでなく室内での活動も検討し、そのうえで利用者と支援員が共に汗を掻き心身ともに健康的な日々を作ることで自宅での落ち着いた生活にも繋がることを目標に計画を立てましたが新型コロナウイルスの状況によっては運動場所も制限されることになりました。来年度は新型コロナウイルスが5類に相当することから、運動場所を広げ、体育館やプールなどでも身体を楽しく動かせるようにしていきたいと思えます。

	内 容
1	ラジオ体操/リズム体操
2	ウォーキング
3	山登り

5) 余暇活動

日常的に楽しみを取り入れ「頑張り」と「楽しみ」が連動していくことで、登園する励みや楽しみに繋がることを計画としていました。しかし、新型コロナウイルス感染予防のため、思うように活動ができませんでした。しかし、来年度は新型コロナウイルスの位置づけが5類に相当することからも、余暇内容を広げて利用者が楽しく余暇活動ができるようにしていきたいと考えています。

活 動	(1) ドライブ
	(2) お菓子作り
	(3) ティータイム
特 記	ボーリング・カラオケ・プールなど事業計画に記載していたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し自粛をした1年となる。

6) 地域活動

「社会とのつながり」をテーマに地域貢献につながる取り組みを行うことで障害に対する啓発や地域の住民と利用者との交流に繋げることで、地域に根ざした開かれた施設を目指す計画を立てて実行してきました。

活 動	(1) 川島地区の花壇の苗の植え替え、草抜き、水やりなどの管理
	(2) あすか周辺のごみ拾いなどの清掃活動

7) 職員の質の向上

職員一人ひとりが求められている役割と責任を発揮できるようにリーダーシップを図りチームワークが向上できる環境をつくることで利用者一人ひとりに寄り添える支援をします。

(1) 支援部会議

日 時		場 所	議 題	参加者
4月4日	16:00~17:00	第3作業室	1. 新職員について 2. 理念の共有 3. 4月の予定 4. 5月契約利用者 5. 個別支援計画 6. ケース記録 7. 支援計画承認会議 8. 医務より 9. その他	サビ管1名 支援員7名 看護師1名
5月9日	16:00~17:00	第3作業室	1. 6月行事について 2. 支援計画承認会議 3. 6月契約利用者 4. 利用者について	サビ管1名 支援員7名 看護師1名
6月6日	16:00~17:00	第3作業室	1. 月予定 2. 支援計画承認会議 3. 7月契約利用者 4. 体験実習生について 5. 各種委員より 6. 医務より 7. その他	サビ管1名 支援員8名 看護師1名
7月12日	16:00~17:00	第3作業室	1. 月予定について 2. 支援計画承認会議 3. 8月契約利用者 4. 利用者について 5. 8月行事について 6. 虐待防止委員会 7. 研修報告	サビ管1名 支援員8名 看護師1名
8月11日	16:00~18:00	第3作業室	1. 月予定 2. 9月行事について 3. 大掃除について 4. 支援計画承認会 5. 9月契約の利用者 6. 利用者について 7. 各種活動報告	サビ管1名 支援員6名

9月26日	16:00~17:00	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定について 2. 10月行事について 3. 支援計画承認会議 4. 10月契約利用者 5. 各種活動報告 	サビ管1名 支援員7名
10月17日	16:00~17:00	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定 2. 支援計画承認会議 3. 11月契約利用者 4. 体験実習生 5. 医務より 6. 各種活動報告 7. その他 	サビ管1名 支援員7名 看護師1名
11月30日	16:00~17:00	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定 2. 支援計画承認会議 3. 11月契約利用者 4. 12月行事について 5. 医務より 6. 各種活動報告 7. その他 	サビ管1名 支援員7名 看護師1名
12月22日	16:00~17:30	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定 2. 1月契約利用者 3. 利用者について 4. 12月行事について 5. 各種活動報告 6. 医務より 7. その他 	サビ管1名 支援員8名 看護師1名
1月23日	16:00~17:00	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定 2. 体験実習生について 2. 2月契約利用 3. 利用者について 4. 1月行事について 5. 2月行事について 7. 医務より 8. その他 	管理者1名 サビ管1名 支援員8名 看護師1名
2月13日	16:00~17:00	第3作業室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月予定 2. 3月契約利用者 	管理者1名 サビ管1名

			3. 利用者について 4. 3月行事について 5. 各種活動報告 6. 医務より 7. その他	支援員 9名 看護師 1名
3月7日	16:00~17:00	第3作業室	1. 月予定 2. 4月契約利用者 3. 利用者について 4. 10周年記念について 5. 各種活動報告 6. 医務より	サビ管 1名 支援員 8名 看護師 1名

(2) 研 修

日 時	内 容	場 所	参加者	
4月	28日	新人研修(内部研修)	あすかの家	女性 1名
	22日	播淡地区施設長会総会、職員代表社会(WEB会議)	アクリエ姫路	男性 1名
5月	11日	実務基礎研修	太子町商工会館	女性 1名
6月	8日	新人研修(内部研修)	あすかの家	女性 1名
	22日	職員代表者会 研修委員会(WEB会議)	あすかの家	男性 1名
10月	4日	リスクマネジメント研修	兵庫県福祉人材研修センター	男性 1名
11月	14日	感染症患者療養支援者研修会	龍野庁舎	女性 1名
1月	26日	相談面接技術研修	兵庫県福祉人材研修センター	女性 1名
	27日			
2月	17日	職場研修担当者研修	兵庫県福祉人材研修センター	男性 1名
3月	9日	福祉従事者中堅職員研修	兵庫県福祉人材研修センター	女性 1名

8) 行 事

生活介護事業所あすかでは毎月行事を行うことが利用者や保護者の楽しみや喜びに繋がっていましたが、当年度は新型コロナウイルスの影響で自粛せざるを得ない月もあり、寂しい思いをさせてしまうこともありました。

そのため来年度は新型コロナウイルス感染も 5 類相当になることから対策と内

容を検討し毎月行事の開催を目標に利用者やご家族に楽しみと喜びを届けられるようにしていきたいと考えています。

月	内 容	場 所	参加人数	費 用
4月	少人数で観桜会	メモリアルパーク	利用者 27名 職 員 11名	19,818円
5月	新緑をテーマに少人数で個別外出	加西フラワーセンター グリーンエコー 笠形 など	利用者 27名 職 員 11名	26,431円
6月	合同運動会	あすかの家グラウンド	利用者 27名 職 員 11名	78,951円
7月	宿泊行事	フォレストステーション波賀	利用者 12名 職 員 4名	111,139円
8月	夏まつり	生活介護事業所 あすか	利用者 23名 職 員 9名	22,414円
9月	宿泊行事	フォレストステーション波賀	利用者 12名 職 員 4名	101,412円
10月	あすかの家まつり	あすかの家	利用者自由参加 職 員 11名	
11月	新型コロナウイルスの影響ため自粛。			
12月	クリスマス会	生活介護事業所 あすか	利用者 27名 職 員 9名	75,865円
1月	新年をテーマに個別外出	赤穂城 安志稲荷 など	利用者 27名 職 員 11名	51,897円
2月	節 分	生活介護事業所 あすか	利用者 26名 職 員 9名	26,795円
3月	春を求めて個別外出	林田交流センター カラオケまね きねこ など	利用者 27名 職 員 12名	89,332円

9) 事故報告

当年度は車両事故や利用者の怪我などが多く発生した1年でした。中には大きなトラブルにも繋がりがねない案件もありましたので、来年度は各種研修や会議、職員間でのコミュニケーションを通じ、イメージの共有と擦り合わせをすることで利用者・ご家族が日々、安全・安心のもとで過ごせるようにしていきたいと考えています。

日 時	対象	事故種別
4 月	8 日	公用車
	22 日	男 性
	26 日	女 性
5 月	18 日	公用車
11 月	16 日	女 性
	16 日	男 性
特記	他害…2 件 車両事故…2 件 転倒…2 件 合計…6 件	

15、ちやのきのいえ

基本方針「利用者一人ひとりの人生を大切にします」

1) 利用状況

	延利用者数	延定員数	利用率	一日平均
4 月	247 人	300 人	82.3%	8.2 人
5 月	229 人	310 人	73.9%	7.4 人
6 月	248 人	300 人	82.7%	8.3 人
7 月	229 人	310 人	73.9%	7.4 人
8 月	225 人	310 人	72.6%	7.3 人
9 月	225 人	300 人	75.0%	7.5 人
10 月	246 人	310 人	79.4%	7.9 人
11 月	240 人	300 人	80.0%	8.0 人
12 月	243 人	310 人	78.4%	7.8 人
1 月	237 人	310 人	76.5%	7.6 人
2 月	252 人	280 人	90.0%	9.0 人
3 月	279 人	310 人	90.0%	9.0 人
計	2,900 人	3,650 人	79.5%	7.9 人

※定員 10 名

2)重点項目

(1)生活面

新型コロナウイルスの影響を受けて外出や一堂に会する機会を制限された窮屈な生活が続きました。そのような中であっても、誕生日会をしたり、七夕飾りなどの制作を行ったり、お月見やゆず湯など季節のイベントを取り入れたりしながら楽しみのある生活作りを行いました。

(2)食事

ちあのき畑で収穫した野菜を使うことで、季節を感じるとともにバランスの取れた健康的な食生活を送ることができました。食事を楽しくおいしく食べるための工夫をしながら、栄養と同様に水分補給にも配慮しました。

(3)安全面

各居室においては清潔で安全な環境作りを行い、夜間巡視を続けることで安全と安眠を確保しました。また、事故が起こりやすい浴室や階段では声掛けや見守りを行い事故防止に努めました。さらに、外からの視線対策として玄関のガラス部分にロールスクリーンを設置したことでプライバシーが守られ防犯性を高めることもできました。

(4)対人関係

食事の準備や後片付け、洗濯物を干したり、うさぎのお世話をしたり、各自が得意な面を活かして協力しました。ワクチン接種や散髪などについては、カレンダーに記入し予定を分かりやすく伝えるようにしました。

(5)自治会の活動

コロナの影響を受けて回数は多くありませんでしたが、感染防止対策を行ったうえで誕生日会やたこ焼きパーティーやおやつ作りを行い、みんなで楽しめるように工夫しました。

(6)障害者支援施設あすかの家との連携

あすかの家の職員と情報を共有し、支援の統一化に努めました。また、諸問題への対応に関しては窓口を一本化することで情報が錯綜しないようにして時間をかけて解決に繋げていきました。

3) 事故報告

日時	場所	対象者	事故の種類
5月27日	ちやのきのいえ	女性利用者	無断外出
12月31日	ちやのきのいえ	女性利用者	誤薬

4) 支援部会議

日時	議題	参加者
5月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について ・梅雨時の洗濯について ・掃除について ・朝の送り出しについて ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管 ・支援員4名
11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について ・入浴時間について ・大掃除について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管 ・支援員4名
12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について ・洗濯について ・エアコンについて ・年末帰省について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管 ・支援員3名
1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応について ・事故報告について ・利用者について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管 ・支援員4名
3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について ・送迎について ・エアコンについて ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管 ・支援員2名

5) 新型コロナ感染報告

日時	状況	GHの動き
7月18日	入所: 濃厚接触者に該当の為 事業所間の移動禁止	感染予防の為 GH 内で過ごす
21日	入所: 1名陽性者確認	
8月8日	事業所間の移動再開	通常生活再開

9月 5日	GH : 1名陽性者確認	感染防止の為各自居室で過ごす
9月 16日	隔離生活終了	通常生活再開
12月 30日	GH : 2名陽性者確認	感染防止の為各自居室で過ごす
1月 11日	隔離生活終了	通常生活再開

6) 振り返り

今年度も新型コロナウイルスに大きく影響された1年となりました。9月と12月には新型コロナウイルスの陽性者が確認され、感染拡大の防止の為に外出を控えて各自居室で過ごす事となりました。幸い重症化することなく感染も拡大させず順調に回復することが出来ました。今後も引き続き必要な場所でのマスクの着用や手洗い、建物内の消毒を通して感染予防に取り組んでいきます。

ちやのきのいえの利用者の半数は70代と高齢で、年々身体機能は低下しており生活習慣病や日常生活におけるリスクも高くなってきています。今後もちやのきのいえで元気に楽しく過ごしてほしいと願っています。その為にも普段との違いをいち早く感じ取れるように利用者としっかり関わっていきたくと思います。そして利用者の健康や安全を守る為の知識を身に付け、支援員としてのスキルアップを図りチームで成長していきたいと思えます。

16、就労継続支援B型事業所あすか

1. 利用状況

	利用者数(人)	定員(人)	利用率	日平均(人)
4月	95	330	28.8%	8.18
5月	94	345	27.2%	8.48
6月	105	330	31.8%	7.14
7月	107	345	31.0%	7.00
8月	97	345	28.1%	5.87
9月	111	330	33.6%	5.32
10月	118	345	34.2%	5.43
11月	117	330	35.5%	5.23
12月	106	345	30.7%	5.65
1月	94	345	27.2%	5.13
2月	105	300	35.0%	4.35
3月	102	345	36.2%	4.43
合計	1,274	4,035	31.6%	4.74

2. 作業活動

1) ちやのき Café(カフェ・弁当・菓子・地域イベント) 収支

	売上(円)	材料費(円)	収益(円)
4月	560,200	105,216	454,984
5月	371,330	178,922	192,408
6月	509,020	229,025	279,995
7月	408,150	179,757	228,393
8月	415,460	137,410	278,050
9月	360,830	146,100	214,730
10月	684,160	242,783	441,377
11月	547,010	286,007	261,003
12月	606,530	200,242	406,288
1月	286,100	145,451	140,649
2月	647,860	239,440	408,420
3月	987,985	402,127	585,858
計	6,384,635	2,492,480	3,892,155

2) その他作業売上

	ますき(円)	除草作業(円)
4月	12,115	尾村雅史さん(年間契約) 30,000
5月	7,850	
6月	15,000	合田さん 10,000/糸井自治会 15,000 東南前田 30,000/ウイズ in159,770
7月	17,100	丸尾さん 30,000/ウイズ in39,600
8月	18,900	合田さん 10,000
9月	19,365	尾村隆さん 30,000
10月	20,225	丸尾圭子さん 30,000
11月	12,820	合田京子様 10,000 丸尾さん 30,000
12月	21,825	福田美智子様 45,000
1月	14,625	
2月	18,660	
3月	14,820	
計	193,305	439,370

3. イベント

4月	6日	障害者週間
	24日	ふくしフェスティバル
5月	15日	親子3代マルシェ
6月	9日	ぜんじろう LIVE
	13日	ぜんじろう LIVE
	18日	雨なんてなんのその♪ 気持ちはいつも青い空 LIVE
	20日	ぜんじろう LIVE
8月	6日	町内ボランティア&福祉サービス事業所 ONEDAY ショップ
	10日	ちゃのきふれあい夏まつり
10月	30日	あすかの家まつり
11月	3日	太子あすかふるさとまつり
	12日	お笑いマルシェ
	13日	お笑いマルシェ
	27日	西播磨ふるさと文化祭 2022「ふるさとバザール」

4. 研修

1) 外部研修

日 時	内 容	場 所	参加者	
7月 7日	農福連携ネットワーク会議	西播磨県民局	女性2名	
8月 5日	社会福祉法人経営計画普及セミナー	オンライン研修	男性1名	
10月 13日	令和4年度 西播磨就労・生活支援連絡会	たつの市総合文化会館	女性1名	
11月 10日 11日	令和4年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修	オンライン研修	女性1名	
1月	20日	会計実務担当者研修	兵庫県福祉人材研修センター	男性1名
	26日 27日	第10回全国生産活動・就労支援部会職員研修会北陸地区大会	オンライン研修(メタバース)	女性2名
2月	6日	食品衛生責任者養成講習会	たつの市新宮ふれあい福祉会館	女性1名
	9日	令和4年度福祉人材確保・定着力向上研修	オンライン研修	女性1名

5. 振り返り

1) 利用者の仕事を作る

カフェの営業を再開することができました。地域イベントへの参加、太子町役場でお弁当・お菓子類の販売、耕作放棄地の草刈りも行いました。

2) 農作業

①農福連携

県・役場(農業・福祉担当)、兵庫農林機構が入り、令和4年1月から壽ファーム万壽本氏と農福連携を行い、作業を実施してきましたが職員・利用者の人材不足や、農業の知識や経験不足から思うように農作業に従事することができませんでした。

②耕作放棄地の草刈り

令和2年度より始まったハンマーナイフ草刈り機を使っての耕作放棄地の草刈りは、夏場を中心に大きな収入を得ることができる作業になりました。

3) 地域との交流

ちやのきCaféを開放し、LIVEやイベントでの活用、ランチタイムの貸切営業を行いました。地域イベントへも参加して、地域の方に知っていただける機会となりました。

4) 利用者の増員

利用者の増員を目標にしていたのですが、思うように人が集まりませんでした。令和5年度は、作業の充実を図り定員の増員を目指します。

17、「障害者支援施設あすかの家」「共同生活援助事業所」医務部

1) 入院・ご逝去

令和5年1月に利用者1名が誤嚥性肺炎にて緊急搬送されましたが、入院中にご逝去されるという悲しい出来事がありました。

2) 疾病の早期発見・早期治療

年2回の健康診断はコロナ感染等に留意し無事実施されました。健診結果にて、高血圧を指摘、2名、コレステロール高値1名、嘱託医師相談にて内服治療開始となりました。生活習慣病予備軍の利用者が数名いるため生活習慣病の予防を継続し健康で生活が送れるように努めます。

3)通院

病院名	通院回数	病院名	通院回数
揖保川病院	16回	佐久間耳鼻科	13回
開発医院	5回	いしづかクリニック	1回
太子病院	45回	長久泌尿器	7回
富岡歯科	15回	たつの市民病院	2回
松浦眼科	5回	西田医院	2回
はましげ皮膚科	3回	井上整形	1回
日赤病院	13回	森本ニーズ歯科	1回

(1) 揖保川病院 精神科

定期受診をしています。採血・心電図検査に加え、1回/1年てんかんのある方は脳波検査実施しています。

(2) 開発医院 内科

囑託医をして頂いています。今年度は、コロナワクチン・インフルエンザワクチンと事業所に来園して実施して頂きました。健康診断の結果も報告し必要者は再検査を実施にて診断を仰いでいます。

(3) 太子病院 外科・整形

怪我など外科的治療または CT/MRI などの検査が必要と判断した時、骨折などの外傷・リハビリなどで通院しています。

前年度と同じく今年度は怪我での受診が軽減し通院回数が減っています。

(4) 富岡歯科

月/1回往診にきて頂いています。今年度は感染隔離に影響される事無く実施、往診の際に治療が必要と認められた利用者は、迅速に対応し治療通院しています。

(5) 森本ニーズ歯科

富岡歯科での治療が困難と認められた場合受診しています。

(6) 松浦眼科

白内障・眼脂(めやに)などで通院しています。

(7) 佐久間耳鼻科

耳の既往をもっている利用者の定期受診、花粉症などで通院しています。

(8)はましげ皮膚科

耳上のできものを通院にて切除してもらいました。

(9)日赤病院

定期受診、骨折術後経過のため通院しています。

(10)長久泌尿器

前立腺肥大にて通院しています。

(11)西田医院 皮膚科

慢性湿疹・アトピーのため軟膏処方につき定期通院をしています。

(12)井上整形

随時必要性があるときに受診しています。

4)今年度の振り返り・来年度目標

前年度と同様上半期はコロナに振り回されましたが、下半期は感染者も殆どなく職員一同が気を引き締め業務に携わった成果だと思えます。来年度から 5 類に分類されますが、感染が流行する時期にはコロナだけでなく感染症に十分注意し予防に努めたいです。重ねて前年度に引き続き大きな事故・怪我がないように職員一同がしっかりと利用者に関わっていきたいと思えます。また、今年度、長年あすかの家で過ごされた男子利用者がご逝去されるという悲しく、寂しい出来事がありました。高齢者も増えていく中で介護の必要性も要求される時期もそう遠くないと思えますので、介護方法などの勉強会・職員が緊急時に迅速な対応がとれるように連携していきたいと思えます。

「健康はすべてに優先するものであることを根本に、各利用者の健康に配慮し、その保持増進に努める。日常生活のあらゆる場面で病気・怪我を防止し生活を支援する。」を、モットーに来年度も邁進します。